

平成29年度 ニシン漁獲物調査速報(1)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

1月12日に小樽地区で出荷された漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

10日の解禁後はシケましたが、シケ明けの12日から①～②番手主体で漁がありました。最近2年は解禁後しばらくは皆無状態が続いていましたが、今期は先週の石狩方面の漁期前調査でもまとまった採捕があったことから、湾内沿岸域への来遊が早めであったことがうかがえます。

2. メスの完熟率(表1)

この日測定した標本のうち雌の完熟率は3～4割程度で、雌雄とも全体的にまだ未熟個体の割合が多い状態でしたが、1週間前の石狩付近の漁期前調査のときより完熟の割合が増えていることから、完熟率はこれからどんどん高くなるとみられます。水温は6℃台と例年より高めに推移しています。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

31cm台にモードのある5年魚(2013年級)と今期の来遊で最も多いと予測している4年魚(2014年級)の2群構成に、大型の6年魚(2012年級)が加わる展開となり、漁期序盤には大型魚から中型魚までサイズ幅の広い組成で来遊しています。

銘柄	①	②	③	その他	合計
漁獲重量	2,235.00	2,990.00	530.00	3,148.00	8,903.0
漁獲尾数	5,506	9,600	1,995		17,100
測定尾数	13	17	20		50
測定尾数(精密)	13	17	20		50
平均尾叉長(mm)	315	296	283		300.8
平均体重(g)	406	311	266		336.5
雌の比率	0.54	0.35	0.45		—
完熟率*	0.43	0.33	0.44		—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

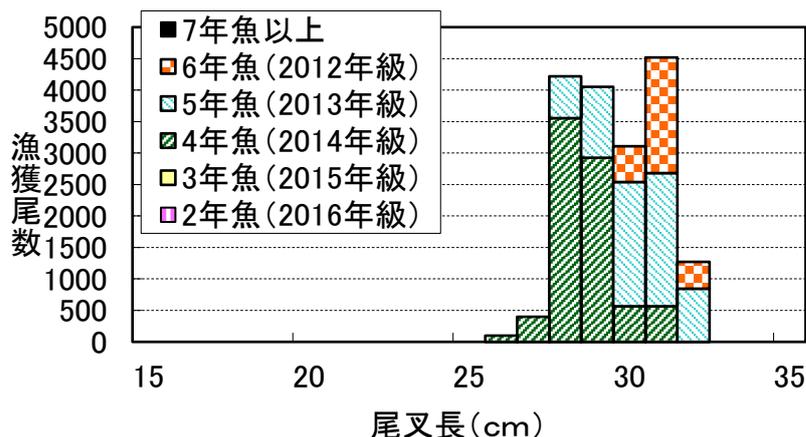


図1 2018年1月12日小樽地区 年齢別尾叉長組成